

## 大会開催基本計画について

- 概要 大会開催基本計画は、組織委員会が開催準備・運営を行う上で必要となる各分野における基礎的な事項と、大まかな準備スケジュールを示した基本的な計画。組織委員会が開催都市契約に基づき、その設置後6か月以内(2019年11月末まで)にアジア・オリンピック評議会(OCA)に提出するもの。
- 作成方針 第17回アジア競技大会(2014/仁川)の大会開催基本計画を参考に作成
- 今後の予定 11月:OCAへ提出、その後各分野においてOCAと具体的な調整を開始

項番	分野	主な内容
<b>第1章 概要</b>		
1.1	原則及びマーク	大会シンボルの作成 >スローガンを2019年に、エンブレムを2020年に作成予定、マスコットは適切な時期に作成
1.2	大会の詳細情報	大会の基本的事項 >大会名称：第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)、会期：2026年9月19日(土)～10月4日(日) 参加者数：選手団(選手・チーム役員)の参加者数上限は15,000人(選手の上限は10,000人)
1.3	運営体制	大会準備を推進する体制 >OCAやアジアの各競技連盟など関係機関と大会準備を一体的に推進していくための協力体制及び組織委員会の体制
<b>第2章 運営</b>		
2.1	競技	競技の実施方針 >パリオリンピックの中核28競技及び追加競技、アジア5地域の競技、組織委員会及びOCA提案競技を実施 >実施競技や競技日程を定めた「競技プログラム」を開催2年前までにOCAに提出 >国毎の参加者数上限や申込の手順を定めた「競技エントリー方針」を開催2年前までに確立 >「表彰式の内容」や「表彰メダルのデザイン」を開催1年前までにOCAに提出 >会場近隣の医療機関と連携して医療体制を整え、安心・安全な医療サービスを提供
2.2	式典及び文化プログラム	大会精神の共有や文化交流 >瑞穂公園陸上競技場で開閉会式を実施 >「開閉会式のテーマやプログラム」を開催1年前までにOCAに提出 >聖火リレーは県内の中心都市部のみならず、より広範囲で大会の盛り上がり資するルートを検討 >大会関係者と県民・市民の交流を図る「文化プログラム計画」を開催2年前までにOCAに提出
2.3	競技大会施設	競技会場や選手団が滞在する施設 >競技会場の名称、整備方法、観客席数(パリオリンピック中核28競技の会場のうち現時点で仮決定とした35会場を記載) >既存のスポーツ施設を中心に活用 >全体で選手団最大15,000人のための宿泊施設を提供するとともに、競技会場まで45分以内でアクセスできるよう調整 >名古屋競馬場跡地にメイン選手村を整備。メイン選手村から離れた競技会場ではホテルや公共施設(研修所等)を利用するなど、選手村を分散
2.4	宿泊	大会関係者に提供する宿泊施設 >OCAファミリー(OCA会長始め役員、各国国内オリンピック委員会会長、国際競技連盟会長等)に最低限2,000室、技術役員に最大350室、メディアに最低限3,000人分の客室を確保・提供
2.5	競技大会要員	大会を支える人材の役割・確保 >運営要員は、各部門の必要人数や職種、職位、言語などを考慮し、適切な時期に募集 >要員の区分：組織委員会職員、技術役員、競技運営要員、大会支援要員、臨時要員、ボランティア

項番	分野	主な内容
2.6	競技大会の物品	<p>必要な物品の確保や競技用具等の輸出入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶過去大会のデータ等をもとに大会運営に必要な物品の数量を把握</li> <li>▶選手や審判員等が使用する大会関連物資や機材などの通関手続の合理化、迅速化について、関係機関に協力を要請</li> </ul>
2.7	輸送	<p>大会を円滑に実施するための輸送サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶大会関係者の出入国時に中部国際空港と宿泊施設等の間を移動するための適切な輸送を実施（到着/出発時の輸送）</li> <li>▶開閉会式時の交通規制の実施などについて関係機関と協議・調整し、円滑な輸送を実施（開会式及び閉会式時の輸送）</li> <li>▶宿泊施設・競技会場・練習会場間の選手団向け輸送、最寄駅・競技会場間の観客向け輸送を適切に実施（競技時の輸送）</li> <li>▶交通管理システム、輸送経路等を定めた「輸送計画」を開催2年前までにOCAに提出</li> </ul>
2.8	情報技術	<p>大会情報の的確かつ迅速な提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「情報システムに関する提案」を開催3年前までにOCAに提示の上、競技結果などを提供するための情報システムを構築</li> <li>▶情報システムの運用を滞りなく行うため、安定した通信が確保できるネットワーク環境を整備し、必要な電力も確保</li> </ul>
2.9	メディア	<p>大会映像の配信や取材環境の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶国際放送センター(IBC)とメインプレスセンター(MPC)を統合したメインメディアセンター(MMC)を名古屋市国際展示場に設置</li> <li>▶各競技会場や選手村にサブプレスセンター(SPC)を設置</li> </ul>
2.10	国際関係	<p>定期的な会合を通じた関係者との情報共有及び協働体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶OCAが主催する国際会議に必要な応じて出席し、開催準備の進捗を報告</li> </ul>
2.11	プロトコル	<p>国際儀礼に基づく要人への接遇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶組織委員会内の宿泊、輸送及び式典の各専門部門と国際儀礼を統括する専門部門が緊密に連携し、国際儀礼サービスを実施</li> </ul>
2.12	資格認定	<p>効率的かつ安全な大会関連施設への入退管理と査証の一時免除</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶所属団体や職務に応じてアクセスできる施設やゾーンを体系的に区分</li> <li>▶大会関係者の円滑な入国に資するため、関係機関と調整の上、身分証明及び査証の一時免除機能を有する資格認定カードを交付</li> </ul>
2.13	警備	<p>大会前後及び期間中の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶競技会場、選手村、開閉会式、メディアセンター、OCAファミリーの滞在ホテル等で日本における治安状況を踏まえた適切な警備を実施</li> </ul>
2.14	宣伝活動	<p>大会認知度や開催機運を高める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶東京オリンピックなどの大規模イベントに合わせたPR、杭州アジア競技大会組織委員会(HAGOC)との共同PR動画の制作などによる共同PR、PRアンバサダーの任命・駐日外国公館等との協力・ニュースレター等刊行物の発行などによるPR</li> </ul>
2.15	マーケティング	<p>大会の安定的運営に資するマーケティング活動計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶マーケティング代理店とともにスポンサーシッププログラム(メリット、対価等)及び戦略的な販売計画を策定</li> <li>▶開催都市のプロモーションに繋がるライセンス商品を開発するとともに、公式ショップの展開計画及びライセンス商品の販売計画を策定</li> <li>▶公明、公正、平等なチケット購入の機会を提供できるチケット販売の枠組みを策定</li> </ul>